

芸歴紹介

古今亭菊千代 噺家



東京・板橋の生まれ 出囃子：銀座カンカン娘
紋：裏梅・まんじゅう菊・9(憲法9条の9)

中国文学やデザインを学び、社会に出てからは、
広告代理店に勤めはしたが、若い頃からの落語好き、
当時女性の落語家が殆どいない時代で、たまた
まお会いした柳家小さんから「うまけりやいい」の一
言で、27歳で退社、昭和59年二代目古今亭円菊
に入門。前座名菊乃。32歳で二つ目昇進。37歳
先輩三遊亭歌る多師と江戸落語初の女性真打ち
に昇進、菊千代に改名。東海道53次、日本橋から
二条大本橋までの辻々で落語をする噺家修業。

2度にわたり、北朝鮮と韓国でコリアン落語。アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、メキシコ
と日系移民に落語を披露、東京拘置所、各矯正施設慰問落語で全国制覇を目指す。
はたまた、男女共同参画社会をテーマの講演、落語・手話とともに、落語・発声練習。著
書に、「古今亭菊千代、噺家です」日本出版社、全5巻「体験！子ども寄席」偕成社。
KIKUCHIYO工房のハンドメイドグッズ。平和憲法9条をこよなく愛し、平成27年「芸
人9条の会」旗揚げ。

柳家小菊 三味線粹曲



東京・府中のご出身

出囃子 六段くずし

紋 備前蝶菱

芸種 粹曲

昭和48年、柳家紫朝(鶴賀喜代太夫)に
入門。昭和54年新内師範「鶴賀喜代花」
を許される。

第6回放送演芸大賞(フジサンケイグループ)
ホープ賞、第14回ゴールデンアロー賞(日
本雑誌協会)芸能新人賞。寄席出演の他、
「〈柳家小菊〉の新内を聴く会」など。